



秋田県大館市におけるICT利活用の促進のための調査研究会

報告書概要

平成22年12月20日

大館市の地域の現状と課題 (第1章、第2章)

大館市の概要



秋田県 大館市(おおだてし)

○概要

本市は、秋田県内陸北部に位置し、市の中央部を秋田県第2位の流域面積を持つ米代川が流下、東側を鹿角市と小坂町、西側を北秋田市と藤里町、南側を北秋田市、北側を青森県と接している。総面積は913.7km²である。気候は、積雪寒冷地帯の内陸性盆地気候に属し、積雪期間は12月から翌年3月下旬までの長期間に及ぶ。

産業分野では、農林業従事者の減少と高齢化、商業では商店数・従業者の減少傾向が続く。工業では、企業誘致により市内9か所の工業団地で42社が操業中である。医療分野では、一部病院で産婦人科を閉鎖するなどの医師不足の影響が深刻化している。

○人口 80,495人(31,166世帯) H22.7.1現在

○高齢化率 31.7% (秋田県平均 29.2%)

【秋田県健康福祉部長寿社会課公表】

○児童生徒数 小学校19校(3,771人)、中学校10校(1,927人)

H22.5.1現在

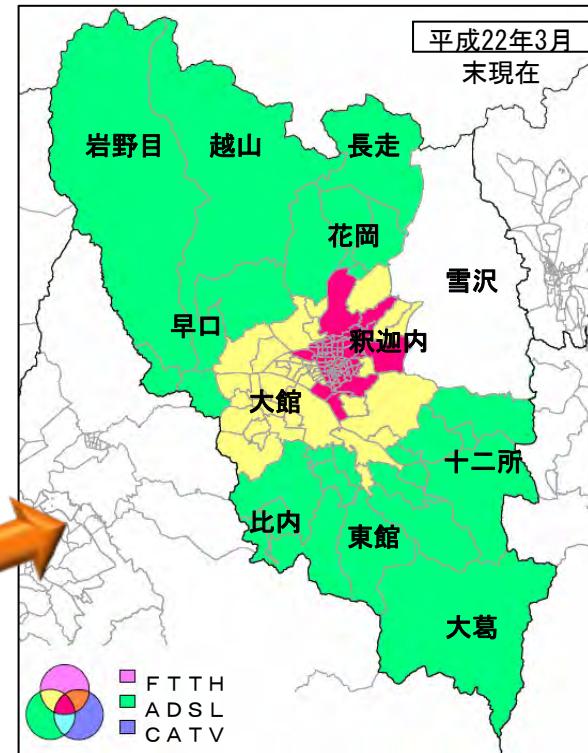
○情報通信基盤の状況

- ・市内の全収容局が年度内にADSLの利用が可能。
ただし、FTTHサービス及びCATVサービスは、市中心部に限定。

○新大館市総合計画

「21世紀に飛翔する 環境先端都市」～地域の多彩な魅力で創造し、自然環境と都市機能が融合した北東北の拠点都市“おおだて”～を目指す。

大館市ブロードバンドマップ



研究会の構成員(◎座長)

(五十音順)

石井 隆	大館市総務部 企画調整課長
越前 貞久	大館市産業部 商工観光課長
大堀 博幸	株式会社NTTドコモ東北支社 秋田支店長
大宮 恭	東北インテリジェント通信株式会社 理事 営業本部経営企画部長
小川 淳	富士通株式会社 秋田支店長
鎌田 宏之	東日本電信電話株式会社 秋田支店県北支店長
佐々木伸二	総務省東北総合通信局情報通信部 情報通信振興課長
田中 牧子	大館市市民部 福祉課長
徳田 孝明	秋田職業能力開発短期大学校 電子情報技術科 講師
鳥潟 功	大館商工会議所 議員
日景 省蔵	大館市市立総合病院 企画課長
松塙 和明	秋田県企画振興部 情報企画課長
山本 貴司	大館市教育委員会 教育総務課長
◎行松 健一	秋田大学大学院 工学資源学研究科 情報工学専攻 教授

研究会の開催状況

- 第1回 7月29日
(1)調査研究の進め方
(2)アンケート等の取り組みの検討等
- 第2回 9月17日
(1)アンケート調査結果/課題抽出・整理
(2)課題の深堀による検討等
- 第3回 11月15日
(1)アプリケーション等の検討
(2)実施体制の検討
- 第4回 12月20日
(1)報告書のとりまとめ
(2)報告書の交付



研究会報告書



大館市地域情報化計画

へ反映

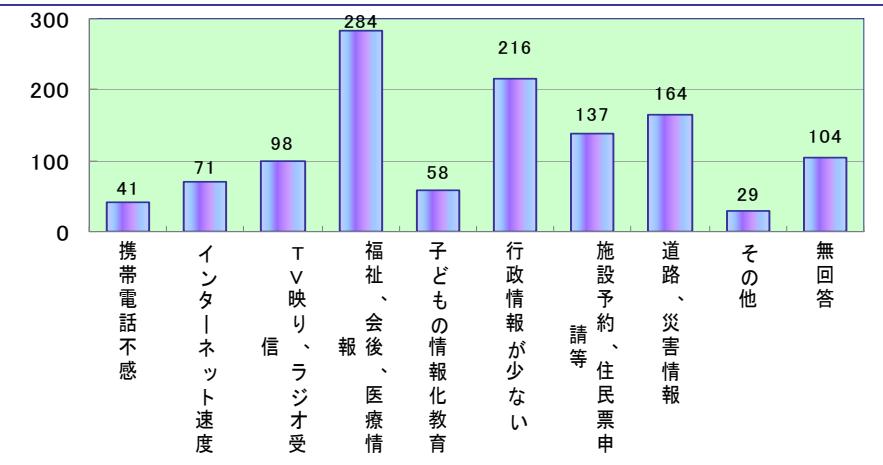
地域の情報化ニーズと課題の抽出－1（第3章）

住民アンケート調査結果

実施期間: 平成22年8月6日～20日

配布数(抽出率): 1,500通(1.87%) / 回収数(回収率): 600通(40.0%)

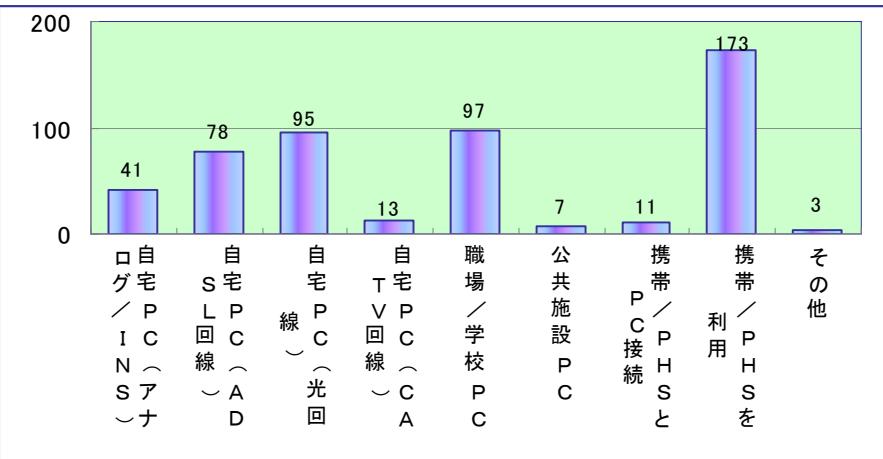
【設問3】この地域の情報化で不便を感じていること、早急に対応して欲しいこと(3つまで)
 「福祉・介護・医療情報」、「行政情報」、「道路・災害情報」、「施設予約・住民票申請」の順に情報化が遅れている不便を感じている。



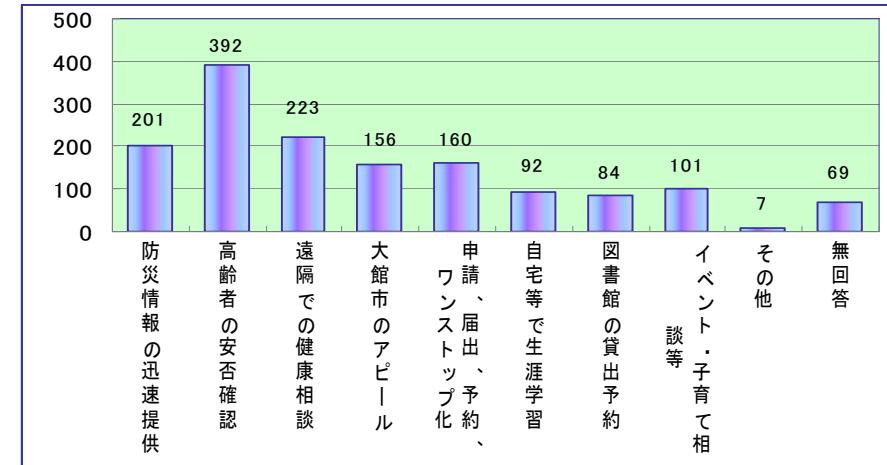
【設問7】情報通信機器・サービスの利用状況

(3) [インターネット利用している方] 利用形態(当てはまるもの全て)

「携帯／PHS利用」が最も多く、次いで「職場／学校」、「自宅光回線」「自宅ADSL回線」を利用してインターネット接続している。



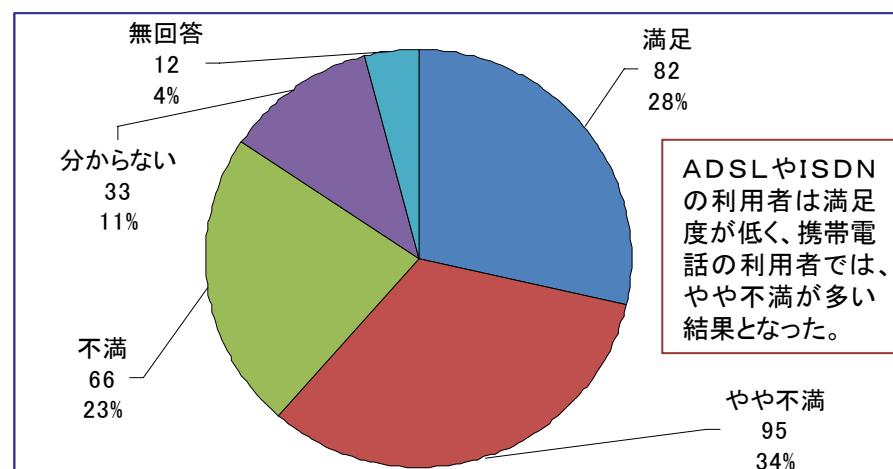
【設問6】(3)情報化の推進に必要と思われる情報提供サービス(当てはまるもの全て)
 「高齢者の安否確認」への要望が圧倒的に多く、高齢者対策が重要である。



【設問7】情報通信機器・サービスの利用状況

(4) [インターネット利用している方] 通信速度の満足度

無回答を除く回答者の58%がインターネットの通信速度に不満／やや不満を感じている。



地域の情報化ニーズと課題の抽出－2（第3章）

優先課題

1: 医療・福祉・介護・健康診断

2: 地域情報(買い物、イベント、行政情報、活気ある地域づくり)

3: 道路・災害情報

4: 産業振興

情報化推進・行政サービスの課題

1: 地域情報の強化(広報おおだて、地元新聞を補完するホームページの充実)

2: 高齢者安否確認システム整備

3: 遠隔健康相談

4: 公共施設PCコーナー設置

5: 高速BB回線整備

6: 防災情報の迅速提供

地域課題の整理

調査概要／課題・要望等		
キーワード	部課	
高齢者福祉	長寿支援課	<p>【高齢者世帯生活要望調査】 (65歳以上の独居高齢者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便を感じること 店舗・病院・銀行 ・困難に感じること 食事の準備・掃除・洗濯 ・緊急時の不安 急病・災害時 ・近所の相談者は多い(80%) <p>⇒ 支援センター職員間の情報交換・介護情報共有 (町ぐるみの横連携(絆再生)で、隣家の鍵預託)</p>
高齢化対策		<p>・独居老人411世帯 ⇒ 高齢者宅6600世帯へ ⇒ 安否確認の拡充(孤独感の軽減、生き甲斐、元気な高齢者、見える化) ⇒ ICT利活用を利用者に意識させない取り組み</p>
ボランティア団体		<p>・市内や他地区団体との情報交換・活動連携による大きな輪・和の活動</p> <p>・自分にマッチしたボランティア探しができるネットワークづくり</p> <p>・ボランティア活動全般を市民へ情報公開</p>
健康管理	健康推進課	<p>【健康づくりに関する調査「要望」】(20歳～70歳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり情報発信の充実 ・誰もが利用できる施設情報 ・相談窓口の充実(できれば24時間サポート) <p>施設情報公開(バシブ) ⇒ PR活動(アクティブ)</p>
子育て支援	福祉課	<p>・「子どもすこやかにぎわいプラン」を策定(H22.3) ⇒ 「子育て支援ネットワーク構想」あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サポート団体HPで個別に情報提供 ⇒ 地域ポータル利用で情報総合化要望 ・市サポートの団体(NPO)立ち上げ&育成したい ・問い合わせメール数十件/年 ⇒ データベース化要望 <p>※子育て支援ポータルサイトにて、詳しい情報を市民に提供 冊子(紙情報)以外の情報/遊び場/小児科(当番医)/幼稚園・保育所・託児所 学校入学前の学校情報/子どもの様/災害情報/不審者情報/各種申請の365日24時間化</p>

調査概要／課題・要望等		
キーワード	部課	
環境		<ul style="list-style-type: none"> ・雪 ・強風・フェーン現象 ・CO₂削減 <p>⇒ 住宅(屋根)・道路の除雪・融雪 ⇒ 家屋の耐火 ⇒ クリーンエネルギー活用、省電力化</p>
道路		<ul style="list-style-type: none"> ・現場の動画映像情報の提供・公開 ・現場の地図情報 ・通行止め/渋滞等の道路情報等の提供・公開
商工観光		<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報等は各団体個別に情報発信 ・広域連携(県域、市域)を図る取り組み中・地元商店の活用できる情報提供を要望 <p>⇒ 地域ポータル利用で情報統合化要望</p>
防災		<p>・「緊急時情報一斉配信システム」導入済み</p> <p>行政協力委員登録が少ない(約30%)</p> <p>⇒ 登録促進+サービス拡充が必要</p>
ブランド化		<p>・「ハチ公のまち」を全国に情報発信</p>
ICT利活用への意識醸成		<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験の実感
プロードバンド基盤整備		<ul style="list-style-type: none"> ・行政の通信簿アンケートで、IT関心度が低い ・住民アンケート(本研究会)にて、回線速度の不満は多い ⇒ プロードバンド基盤整備を推進
●地域ポータル サイト	企画調整課	<p>【課題／方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT関心度低さの解消に向けて、最優先は利用者が便利に思うこと。 <p>⇒ 意識向上 ⇒ 次の展開</p>
		<p>【課題／方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄、環境への取組を情報共有。
●環境先端都市		<p>【具体的な施策(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ポータルサイト(総合窓口)で情報共有化 <p>⇒ 環境先端都市を推進する</p>
		<p>⇒ 福祉・介護での活用(防災・教育・観光・環境)</p> <p>⇒ 住みやすい大館市への復活(絆の再生)</p>

住み易い大館市への復活(絆の再生)

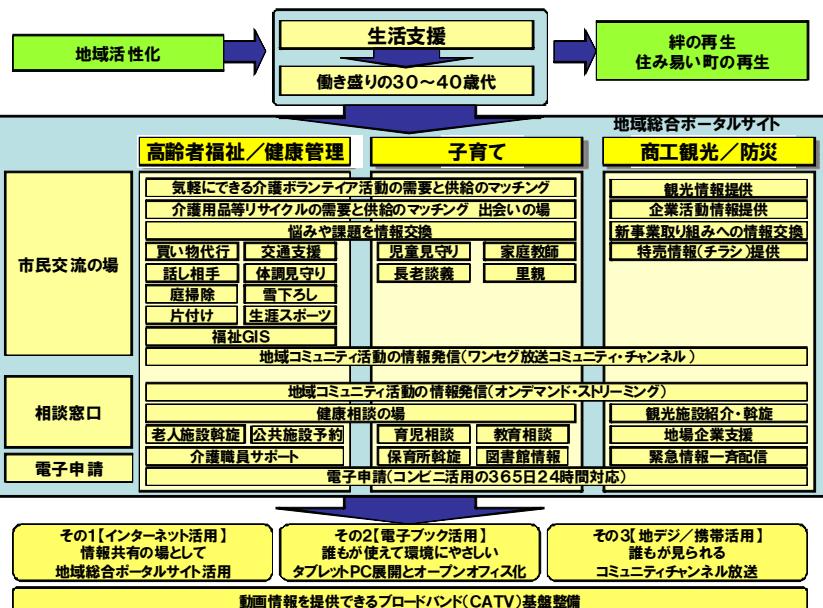
地域課題の解決方策－1（第4章）

検討にあたって

住み易い大館市の復活(絆の再生)を目指す「生活支援」を目的とし、子育て・介護世代の30～40歳代(この世代は情報端末機器の操作に習熟した世代であり、今後のICT利活用を促進するうえで重要な世代と位置付け。)をターゲットとする具体的な課題を深掘りする議論を進める。

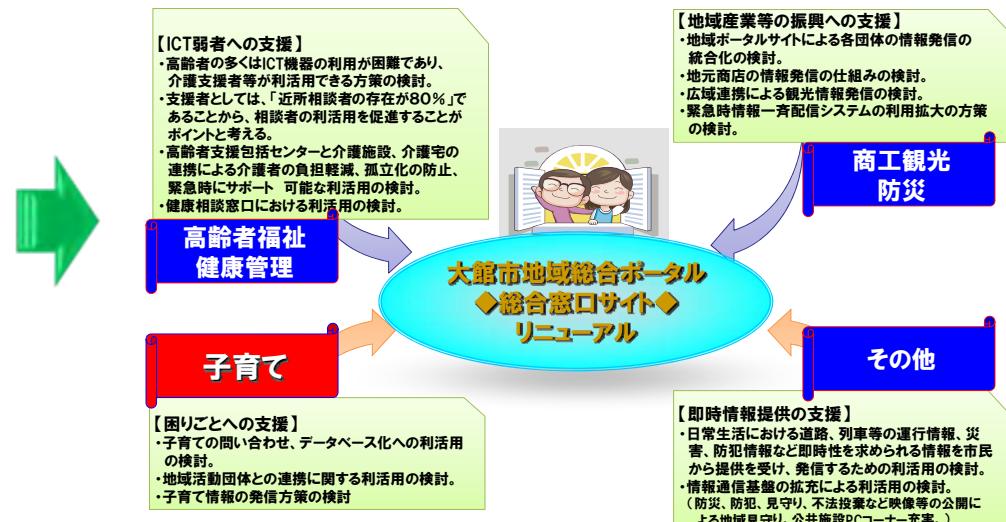
ICT利活用の成功体験を実感できる取り組みから始める。

大館市 地域課題の解決方策



生活支援のための地域総合ポータルサイト

大館市 課題の再整理を踏まえ、第一ステップとして子育て支援「総合窓口サイト(ポータルサイト)」を構築



課題

ICT利活用による成功体験の実感

先ず出来る所から始める

第一ステップは『子育て』に注力

地域課題の解決方策－2（第4章）

ステップ1

子育て支援ポータルサイトの提供サービス

子育て支援

子育て世代の親のための具体的な提供サービス

<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 誰でも（市内外）無料で利用できるコミュニティサイトを導入。知りたいこと・相談・悩みなど自由に投稿可能。 			
サイトコンテンツ・イメージ　～いつでも、どこでも活用でき、子育てを楽しむために～			
出産	出産不安を軽減する情報（申請・検診） ペーパーマッサージ/ふれあい遊び動画	食育とエコ	保育の場での日常の取り組み内容を動画等で提供
予防接種	日程カレンダー、お知らせメール	保育所・幼稚園	保護者に入園に関する情報提供
お悩み相談	子育てのお悩み対応	子育てQ & A	悩んでない人も役立つ情報
おじいちゃんおばあちゃんの子育てコーナー	祖父母とこどもの多世代交流を紹介	小学校・学童保育	不安解消、スムーズな入学に役立つ情報提供
子育てイベント	イベント、遊び場情報	イクメンってな～に	父親の子育て支援
その他	子どもの成長記録等	あなたの提案	更に子育てが充実するための提案の場を提供 (子育て関連なら自由に投稿)
発病時の相談 (病気・病院)	こどもが発覚のとき活用できる情報 (病院待ち時間を経減する仕組み等)		
<ul style="list-style-type: none"> ・PR方法 保育施設・幼稚園/出生届出者/子育て相談室等への宣伝（チラシ配布）。広報/ホームページでの紹介。他 			
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策 子どもの記録に対して、情報開示範囲等を検討。シミュレーション及び試験運用により、適切な個人情報保護体制を検討。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・その他システム要件 誰でも利用できるため、不適切発言に対するチェック方策の検討。 携帯電話で利用できるプラットフォームの構築。ツイッターによる情報発信。 NPO法人等の参加団体確保、運営方式の検討。ベストアンサーへのポイント付与 + 市内商店街でのポイント利用。 			

ステップ2（以降、順次拡張）

高齢者福祉／健康管理のポータルサイト提供サービス

高齢者福祉／健康管理

介護支援者のための具体的な提供サービス

<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 個人プロフィールデータ（介護支援者および介護を受ける人（利用者）） 介護サービスの経験情報 (共有情報により、担当者の変更などにも適切な対応可、支援者同士のコミュニケーションにも寄与。)
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 高齢者向けに情報の発信 ⇒ フォトフレームサービス等
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族との連携 サービス経験などの、利用者家族の閲覧、支援者との連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策 情報開示範囲・入力制限等の検討。 シミュレーション及び試験運用により、適切な個人情報保護体制を検討。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期運用見直し PDCAサイクルによるチェック体制を確立。 支援者・利用者・利用者家族等関係者にとってのメリット／デメリットを検証し、体制に生かす。
<ul style="list-style-type: none"> ・その他システム要件 携帯電話で利用できるプラットフォームの構築。ツイッターによる情報発信。

商工観光分野のポータルサイト提供サービス

商工観光／防災

地域産業振興支援のための具体的な提供サービス

<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 誰でも（市内外）無料で利用できるコミュニティサイトを導入。 商店街、店舗、個人、団体等による自由な情報発信（キャンペーン、イベント等）。 道路情報（積雪・除雪）や交通機関情報などを即時情報提供。 携帯電話での利用を想定。
<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携による観光情報の検討 近隣市町村との広域連携による観光促進を検討。 国道7号広域交通網／東北新幹線開通
<ul style="list-style-type: none"> ・その他システム要件 不適切発言に対するチェック方策の検討。日本語以外（英語、中国語、韓国語等）の対応。 情報の自動収集機能（マッシュアップ）による近隣観光情報の集約を検討。 携帯電話で利用できるプラットフォームの構築。ツイッターによる情報発信。

環境分野のポータルサイト提供サービス

環境

環境支援のための具体的な情報共有

<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 住宅・道路等の除雪／融雪情報の提供。 商店街・道路・不法投棄箇所等のカメラ映像の提供。
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策 カメラ映像に関して、プライバシー（個人情報）を考慮した取り扱いの検討。
<ul style="list-style-type: none"> ・定期運用見直し PDCAサイクルによるチェック体制を確立。 支援者・利用者等関係者にとってのメリット／デメリットを検証し、体制に生かす。
<ul style="list-style-type: none"> ・その他システム要件 携帯電話で利用できるプラットフォームの構築。ツイッターによる情報発信。

地域情報化の促進のための実施体制等（第5章、第6章）

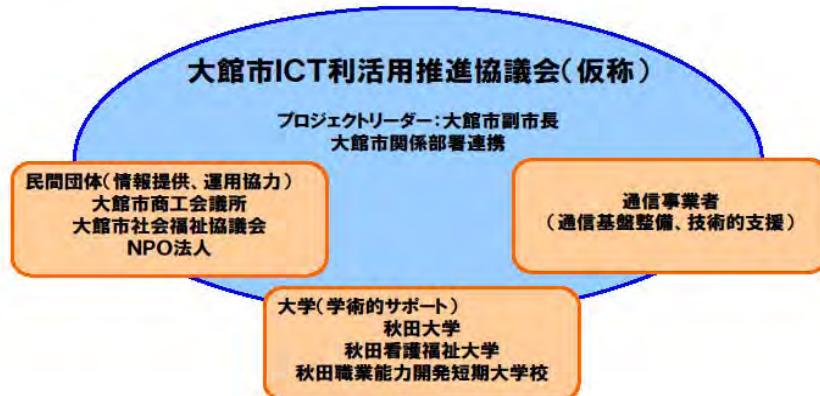
地域情報化促進の実施体制

（1）地域産学官一体での推進体制の実現

地域情報化は、行政による情報発信や事業者のインフラ整備・システム導入などにより実現されればよいというものではなく、産学官一体となった取り組みが不可欠である。

（2）協議会による運営体制

ステップ1及びステップ2で構築する大館市地域総合ポータルサイトを運営するに当たり、各種公共サービスを統括する大館市ICT推進協議会（仮称）を設立する。



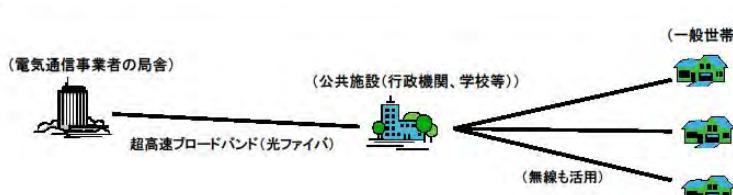
財政的対応

2. 財政的対応

ICT利活用の促進に向けた財政的対応としては、国の補助事業等を活用し導入コストを抑えるとともに運営維持費については、関係機関の支援と利用者の拡大による低コスト化を図ることが重要である。国の補助事業としては、平成23年度予算要求中の総務省「光の道」整備推進事業の活用が望ましい。

「光の道」整備推進事業

超高速プロードバンドの利活用を促進するため、電気通信基盤充実臨時措置法の一部改正を行い、改正法に基づき総務大臣の認定を受けた事業を実施する地方公共団体等に対し、行政・教育・医療等の公共アプリケーションによる利活用と一体となった超高速プロードバンドインフラ整備に関し、事業費の一部を支援する。



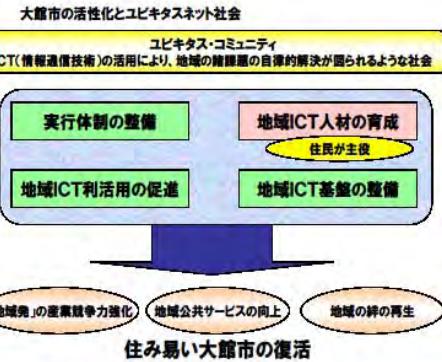
人材の育成

1. 人材の育成

ICTの円滑な活用を促すことができる地域情報化人材の育成が重要な課題になる。

地域情報化人材には、ICTスキルの他に、経営能力、行政や地域との調整ノウハウ、広報・宣伝能力、コミュニケーション能力といった多岐に渡るスキルが必要になる。

対応策としては、地域のNPO等の活動団体による「新しい公共」が担い手となり、地域における実践活動によってノウハウや知見を積み重ね、自らが育っていく事が求められる。



地域情報化人材に求められるスキル

スキル項目	概要
テクニカルスキル	プランニング 情報システム その他
	情報収集、情報分析、戦略・計画立案 調達・構築・運用、情報リテラシー 広報・PR、財務会計、マーケティング、人材開発・管理、関係者折衝・調整管理、法務、プロジェクト管理
	プレゼンテーション、状況対応 メンバーの育成、チームマネジメント ネゴシエーション
ヒューマンスキル	コミュニケーション リーダーシップ ネゴシエーション
	メンバーの育成、チームマネジメント ネゴシエーション、第三者の力を借りられるコーディネーション

実施スケジュール

実施スケジュール

